

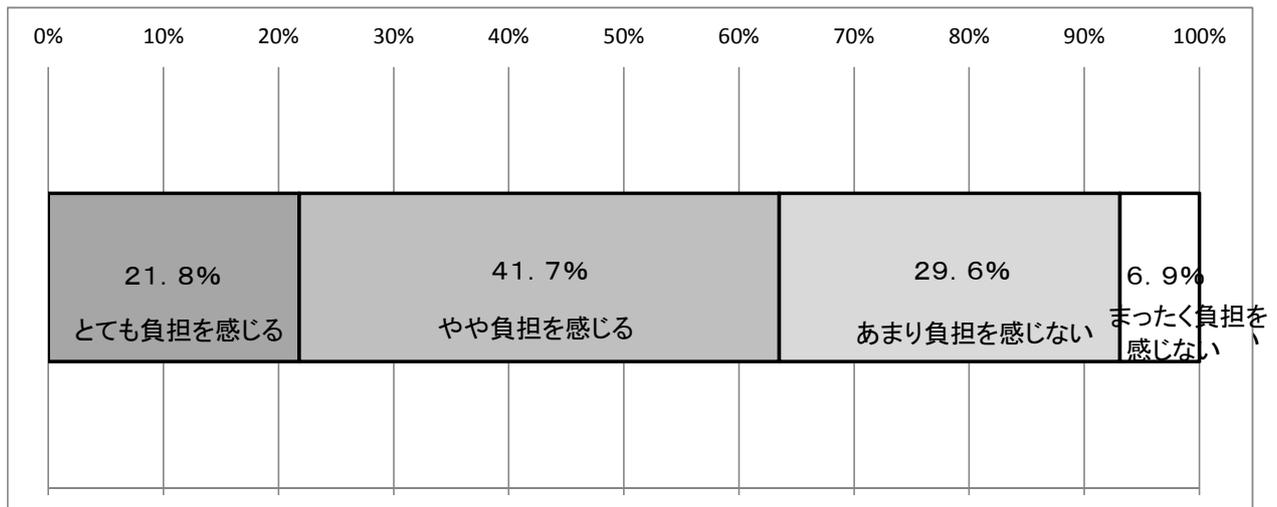
公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度に関する保護者調査結果

平成25年2月、文部科学省において、高校生の子供を持つ保護者(※)に対して、インターネットを通じて、公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度等について調査を実施。

※全国の高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部に在籍する高校生の保護者4,188人(国立188人、公立2,000人、私立2,000人)

○あなたは高校に関する教育費について、どの程度負担を感じていますか。

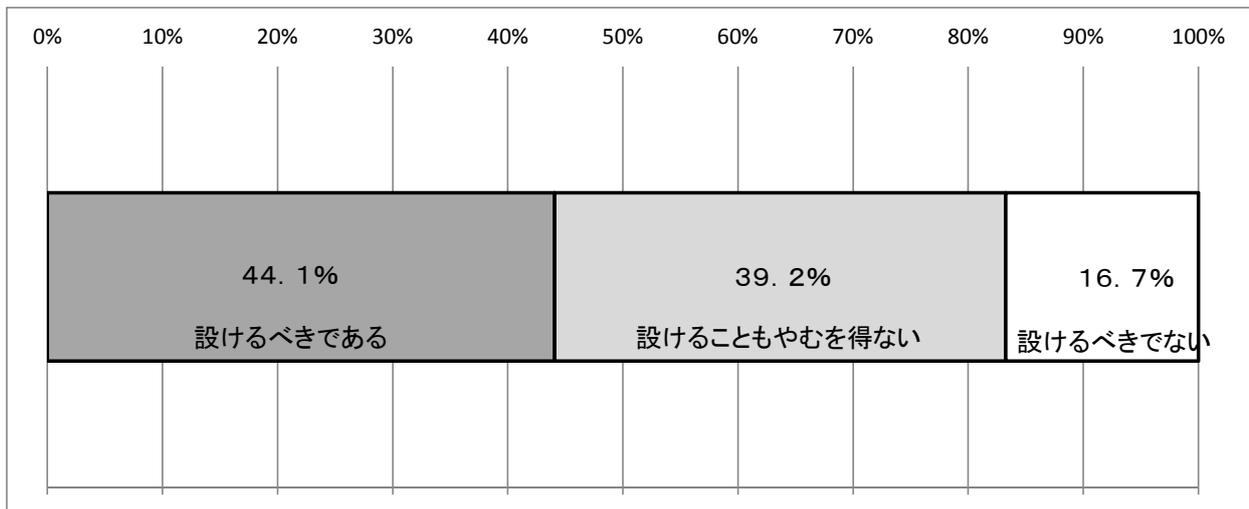
	人数	%
全体	4188	100.0
1 とても負担を感じる	911	21.8
2 やや負担を感じる	1745	41.7
3 あまり負担を感じない	1241	29.6
4 まったく負担を感じない	291	6.9



○平成22年4月から、国の制度として、公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度を導入しました。具体的には、①公立高校の授業料を無償化、②私立高校生等に高等学校等就学支援金を支給(年額118,800円。所得に応じて1.5～2倍加算。)することにより、家庭の教育費負担を軽減する制度です。低所得世帯への支援を充実するための財源を捻出するため、本制度に所得制限(※)を設けることをどう思いますか。

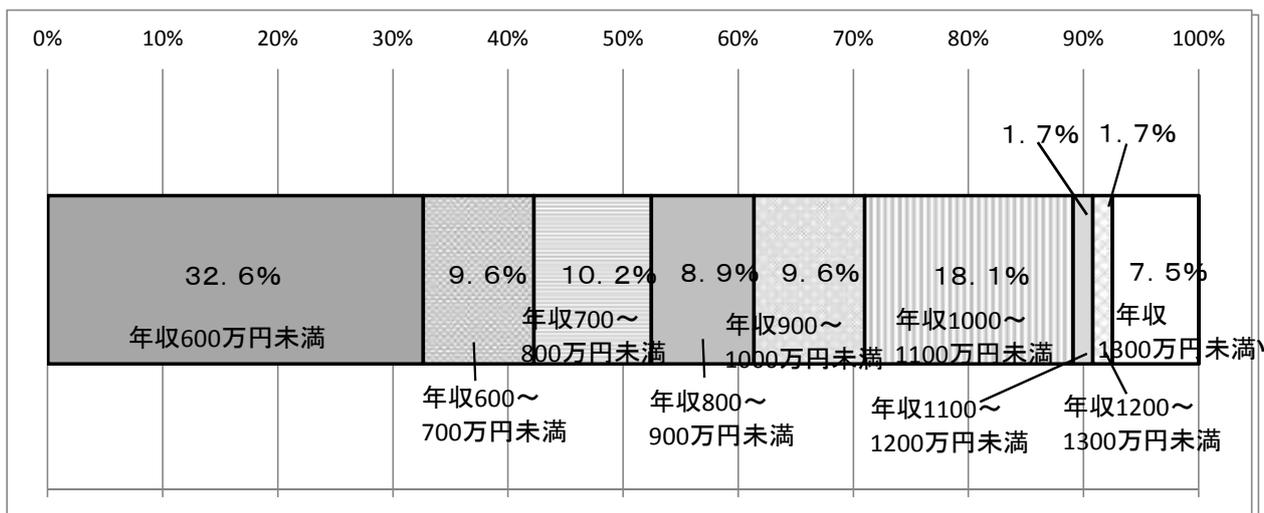
※公立高校の場合、高所得世帯からは授業料を徴収します。私立高校の場合、高所得世帯へは高等学校等就学支援金を支給しません。

	人数	%
全体	4188	100.0
1 設けるべきである	1846	44.1
2 設けることもやむを得ない	1641	39.2
3 設けるべきではない	701	16.7



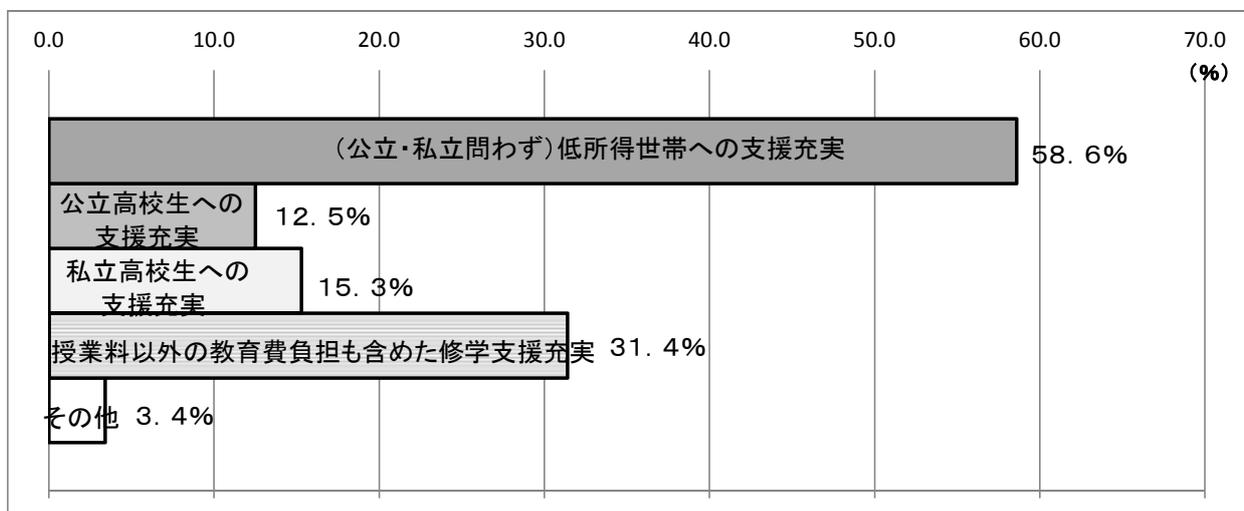
○前問で、公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度について所得制限を「設けるべき」及び「設けることもやむを得ない」と回答した方にお伺いします。あなたは所得制限の年収基準は、どの程度が適当だと思いますか。

	人数	%
全体	3487	100.0
1 年収600万円未満	1138	32.6
2 年収600万円～700万円未満	334	9.6
3 年収700万円～800万円未満	354	10.2
4 年収800万円～900万円未満	311	8.9
5 年収900万円～1000万円未満	334	9.6
6 年収1000万円～1100万円未満	632	18.1
7 年収1100万円～1200万円未満	60	1.7
8 年収1200万円～1300万円未満	61	1.7
9 年収1300万円以上	263	7.5



○あなたは本制度を含む高校生への修学支援について、今後どのようなことが必要だと考えますか。(いくつでも)

	人数	%
全体	4188	—
1 (公立・私立問わず)低所得世帯への支援を充実すべき	2454	58.6
2 私立高校生よりも公立高校生への支援を充実すべき	523	12.5
3 公立高校生よりも私立高校生への支援を充実すべき	641	15.3
4 授業料以外の教育費負担も含めた修学支援を充実すべき	1314	31.4
5 その他	142	3.4



○あなたは、高校生の修学支援の充実とともに、今後の高校教育において、特にどのようなことに一層力を入れて欲しいと考えますか。(3つまで)

	人数	%
全体	4188	—
1 国語や数学などの教科を通じた基礎学力の向上	1605	38.3
2 学習意欲や学習態度の向上	1449	34.6
3 規範意識の向上など生徒指導の充実	937	22.4
4 コミュニケーション力など、社会的自立に必要な実践的能力の向上	2522	60.2
5 専門的職業人に必要な資質を身につける職業教育の充実	804	19.2
6 ICT(情報通信技術)を積極的に活用した授業など教育方法の改善	576	13.8
7 多様な学習ニーズにきめ細やかに対応できる教育機会の充実	880	21.0
8 大学などと連携して高度な教育に触れる教育機会の充実	913	21.8
9 その他	91	2.2

